



香寺歴史研究会の活動

大槻, 守

(Citation)

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 16:30-31

(Issue Date)

2018-01-28

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81010239>



香寺歴史研究会の活動

香寺町史研究室 大槻 守

1. 香寺歴史研究会の発足

- ・『香寺町史 村の記憶』地域編・資料編の発行……2005年3月
- ・姫路市への合併……2006年3月
- ・香寺歴史研究会の結成……2004年10月 ⇒ 組織変更……2006年3月
会員：町史編集協力者+新メンバー
背景①地域編編さんの成果を引き継ぐ
②市町合併問題 → アイデンティティの喪失感

2. 研究会の活動

- (1) 当初の方針①大字誌の研究と作成
 - ②地域の文化財や史跡の保存
 - ③香寺町史通史編編集への協力
- (2) 活動とその成果
 - ① 町内巡検の実施……毎年、地区を変えて実施 → ふるさとの再発見
 - ② 研究発表会……年1回、会員の研究発表
 - ③ 石造物の悉皆調査
……『香寺町の石造物』（A4・531頁、2009年3月）
 - ③ 年中行事の調査……『香寺町の民俗行事』（B5・396頁、2010年3月）

3. フォーラム「大字誌をつくる」……2005年5月21日

- (1) 香寺町史完成シンポジウム
町史活用にむけて4本の柱
 - ① 字誌編さん
 - ② 香寺歴史研究会の活動
 - ③ ムラの史料を読む
 - ④ 歴史遺産の保存
- (2) フォーラムの開催
趣旨は大字誌の編さんを広げること
参加者は会員と自治会役員が主

- ① 第1回（2011. 2）……町外＝福崎町田口・神崎町越知
……町内＝相坂・北恒屋
- ② 第2回（2013. 2）……町内＝土師・岩部
- ③ 第3回（2015. 2）……町内＝土師・中屋・行重

4. 大字誌の編さん

自治会が編集委員を委嘱し、自治会予算で発行する

- ① 相坂『相坂の語りべ』……B5・179頁、2010年
- ② 岩部『いくはべの里』……B5・166頁、2013年
- ③ 土師『伝える郷土史 ふるさと土師』……A4・286頁、2015年
- ④ 田野『大字誌 高野の風』……A4・177頁、2015年
- ⑤ （溝口『文献で読む溝口の歴史』……A4・608頁・2017年）
- ⑥ 中屋 ……2018年刊行予定

5. 『村の記憶』を書き継ぐ会

- ・2017年5月発足
- ・会員＝15人……犬飼（5）・行重（5）・中仁野（2）ほか
- ・趣旨＝地域を見直し、地域づくりに生かしていく

まとめにかえて

- (1) ムラの変化 ⇒ 村共同体の崩壊
住民の危機感
継承力の衰退
市町合併
- (2) 崩壊の中から共同体を蘇生・再生する場をどう築いていくか
大字を再認識するための大字誌